

テールゲートリフター

使う前の5つの基本チェックリスト

テールゲートリフターを使う時は、次のチェックリストで、基本の作業方法を点検しましょう。あなたや周りの人たち、そしてあなたの運ぶ大切な荷物を守るため、**すべての項目にチェックがついた状態になってから、作業を始めましょう。**

作業前点検リスト

確認日

年 月 日

確認担当者名

昇降板では荷を後退りで運搬しないこと

引っ張ると後ろは見えません。この方法で荷台高さからの転落が頻発しています

キャスター付きの荷を使う時は、必ずストッパーを使用すること

作業者が支えても事故につながる可能性があります

原則として、傾いた場所では使用しないこと

ロールボックスパレットが思わぬ方向に動くことがあります。水平な場所で使用してください

昇降板の位置を目視で確認してから運搬すること

荷台高さにあると思いついで、転落する可能性があります

作業にふさわしい装備をすること

手足の保護だけでなく、しっかりと操作できる装備が不可欠です

テールゲートリフターを安全に使用するために

2 STEP ステップで学ぶ **6 基本 & 11 場面別ルール**

作業者 必読!!

! 危険な状態につながるおそれがある「作業者や荷物が倒れる・転落する」事故が多発

テールゲートリフター（TGL）使用時の作業方法に注意しましょう。TGLは、昇降板における危険状態のタイプ（図）を労働安全衛生部が研究開発したため、作業現場に注意喚起の役割を果たし、転落する貨物が全体の65%を占めることが明らかになりました。とりわけロールボックスパレット（以下「箱」）は「TGL」でよく取扱われていますが、重たく傾けやすいことも多少、転落事故の原因の一つに考えられています。また、全体の約 20% を占める「昇降板と荷台との間に足などが挟まれる」原因にも注意が必要です。本チェックリストでは、主にロールボックスパレットを運搬する場合のTGL使用時の安全確保のために2ステップでの「基本ルール」と「使用場面別ルール」を紹介します。

図 テールゲートリフター-転落災害のタイプ

（平成29年-22年の労働安全衛生局が調査したデータのうち転落したものを対象とした調査結果）

転落災害のタイプ	割合
昇降板と荷物の間に足が挟まれる	14.5% (46件)
昇降板が完全に伸びていない	20.5% (65件)
昇降板が完全に引っ込まない	24.6% (78件)
昇降板が完全に下がらない	22.7% (72件)

65% 転落事故は予防可能

厚生労働省・産業労働力局・労働基準監督署
独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
H30.41



作業者に身につけてほしい望ましい装備例



パンフレット「テールゲートリフターを安全に利用するために 2ステップで学ぶ6基本&11場面別ルール」もご確認ください。



ロールボックスパレットのチェックリストは裏面へ▶